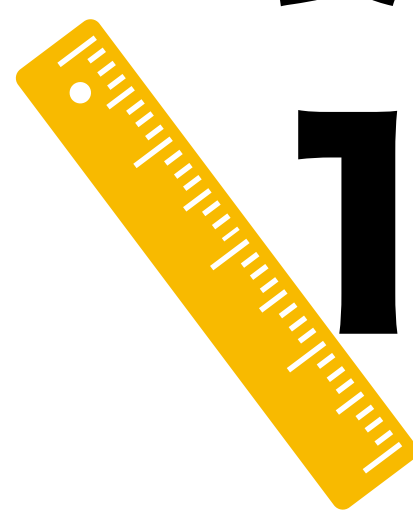




Time

時の流れを実感するのに
長さを使ってみます。

まずは **今** から **過去** へ。



1年 = 1cm

とすると。。。

0cm 2019年

-8cm 2011年

福島第一原発事故

-56cm 1963年

日本初の原子力発電

茨城県東海村
日本原子力研究所東海研究所
動力試験炉JPDR

-68cm 1951年

世界初の原子力発電

アメリカ・アイダホ州
200W電球4個が灯った



(参考資料①)

-74cm 1945年

世界初の核実験

アメリカ・ニューメキシコ州
トリニティ実験



(参考資料②)

そして **今** から **未来** へ。

0cm 2019年

300cm 300年

3m

低レベル放射性廃棄物の管理期間

低レベル放射性廃棄物埋設後の段階管理

	第1段階	第2段階	第3段階
終了予定時期	埋設開始後 1号:30~35年 2号:25~30年	第1段階終了後 30年	第1段階終了後 300年
考え方	埋設設備により閉じ込め	埋設設備と周辺土壌等により 移行抑制	主に周辺土壌等により移行抑制
管理の内容	・埋設保全区域の設定、廃棄物埋設地の巡視、覆土の修復 ・環境モニタリング		
	・周辺監視区域の設定 ・地下水中の放射性物質濃度の監視 ・排水・監視設備により排水		・掘削等の制約
	・漏出のないことの監視 ・埋設設備の修復等	・漏出の状況の監視	

(参考資料③)

8-2-2

原子力・エネルギー図面集

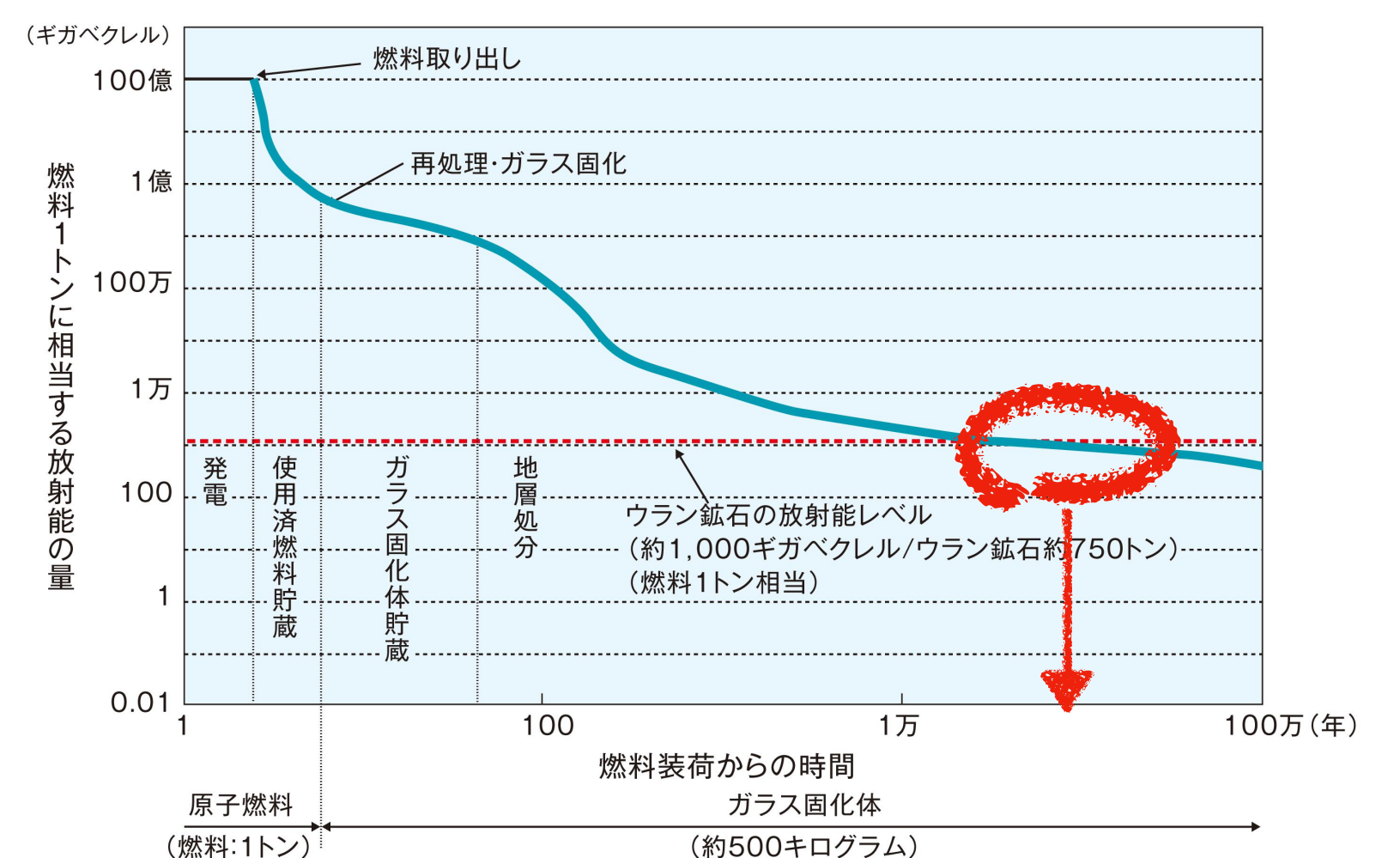
出典：日本原研（株）パブリックより作成

100000cm 10万年

1km

高レベル放射性廃棄物の放射能が ウラン鉱石と同程度の強さに減衰

高レベル放射性廃棄物の放射能の減衰



(参考資料③)

8-3-9

出典：原子力・エネルギー図面集「[8-3-9] 高レベル放射性廃棄物の放射能の減衰」より作成

最後に一言

国会前から1kmというと、憲政記念館の前を通過して、お堀の脇を通過して半蔵門あたりまで行きます。日本に限れば原子力発電の歴史なんて、せいぜい56cm。その56cmという期間でできたゴミは1kmの間、延々と生物に危害を及ぼす。。。って、例がわかりにくいかな？

要するに、我々すでにとんでもない物を大量に抱えているってことです。低レベル放射性廃棄物、管理期間300年とかしれっと書いてありますが、今から300年前って1719年（享保4年）8代将軍徳川吉宗の時代です。暴れん坊将軍の時代から今まで続いている公共事業なんかありますか？そしてこの間に、何度戦争があったのか。。。でも、戦争中だろうが、国家財政が破綻して国民が飢えに苦しもうが、この管理は決して止めてはいけません。冗談ではなく、これは将来の必須事項です。だって、すでに廃棄物は存在するんですもん。そして、高レベル放射性廃棄物。これは想像を絶しています。この罪をどう償うのか、私たちには考える義務があります。なのに、再稼働してこの廃棄物を増やし続けてるなんて、正気の沙汰とは思えません。

参考資料

- ①Wikimedia Commons [File:Trinity shot color.jpg] https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Trinity_shot_color.jpg
- ②Wikimedia Commons [File:First four nuclear lit bulbs.jpeg] https://commons.wikimedia.org/wiki/File:First_four_nuclear_lit_bulbs.jpeg
- ③原子力・エネルギー図面集「[8-2-2] 低レベル放射性廃棄物埋設後の段階管理」
<https://www.ene100.jp/zumen/8-2-2>
- ④原子力・エネルギー図面集「[8-3-9] 高レベル放射性廃棄物の放射能の減衰」
<https://www.ene100.jp/zumen/8-3-9>